

日産車体株式会社 個人投資家向け会社説明資料

日本のモノづくりを世界へ

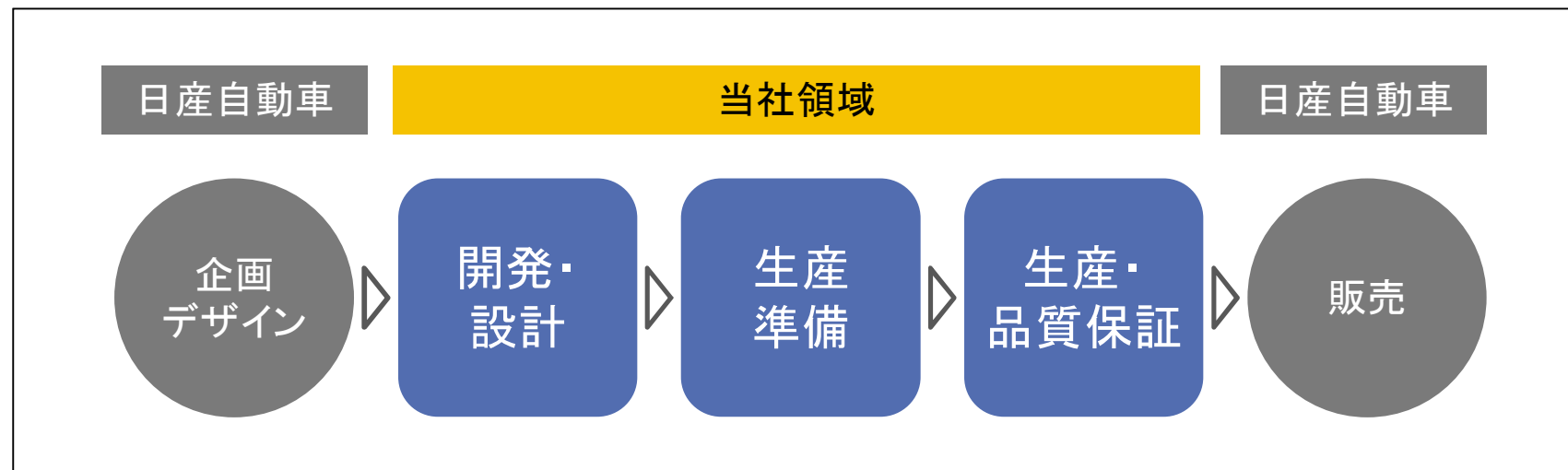


2016年11月

Outline



日産車体は、
開発から生産までを担う完成車メーカーです



日産グループの中で「LCV・MPV」の分野を中心に、
グローバルに活躍する完成車メーカーとして事業を展開しています

LCV: Light Commercial Vehicleの略。小型商用車

MPV: Multi Purpose Vehicleの略。多目的乗用車という意味でミニバンやSUVの総称

グループのご紹介

日産車体グループ



湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

	日産車体(株)	日産車体九州(株)
設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,861名	885名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県荏田町

(2016年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



グループ会社

日産車体マニュファクチャリング株式会社

- ▶ 日産車体のプレス部品の製造

日産車体エンジニアリング株式会社

- ▶ 日産車体および日産車体九州の設備保全と物流



株式会社 オートワークス京都

- ▶ マイクロバスとトラックの製造と特装車の架装

日産車体コンピュータサービス株式会社

- ▶ 情報システム構築、ネットワーク構築などのIT関連サービス



株式会社 プロスタッフ

- ▶ 人材派遣から職業・人材紹介および各種アウトソーシング

日産車体株式会社 3

沿革



2010年に日産車体九州の新工場が稼働開始。
2013年には湘南地区で新しい車両生産体制を開始。

年 月	社 歴
2015年	日産の新世代タクシー「NV200タクシー(M20)」(国内向け)生産開始
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2011年	当社が開発した「NV200」がニューヨーク市の次世代タクシーに選定
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立 生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1969年	フェアレディZ生産開始
1951年	日産自動車(株)と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立

▶ 高級ブランド「インフィニティ」を生産
(日産車体九州)



インフィニティ QX80

▶ LCVでグローバル展開をリード



NV200 NY市 タクシー提案モデル

▶ ミニバンで現在の基礎を構築



▶ 量産体制の基盤を作ったフェアレディZ



グループのご紹介

主な生産車



湘南工場



NV200
MANIFESTO
NV200 バネット



AD/AD EXPERT
AD /AD エキスパート



WINGROAD
ウイングロード



NV200
NV200 タクシー



PATROL
パトロール:Y61



PATROL PICKUP
パトロール ピックアップ

日産車体九州



Infiniti QX80
インフィニティ QX80



PATROL
パトロール:Y62



ARMADA
アルマーダ



ELGRAND
エルグランド



QUEST
クエスト



NV350
CARAVAN
NV350 キャラバン

オートワークス京都



CIVILIAN
シビリアン



ATLAS
アトラスF24

グループのご紹介

特長



完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

■LCVを中心とした多車種少量生産の一大拠点(湘南工場)



▶モノコック車



▶フレーム車

■2010年に稼動開始した日産グループの国内“最新鋭工場”
(日産車体九州)



▶ローラーヘミングによるエンジン
フードの生産



▶環境に優しい新塗装技術

■LCVで海外展開事業の基盤を強化



■グループ内での一貫生産により、
高品質な特別仕様車をスピーディに提供



2016年度第2四半期 連結決算概況

<累計>

2016年度 第2四半期 決算 <累計>

決算サマリー



「NV350キャラバン」、北米向け「アルマーダ」等の増加があったものの、輸出向けの「クエスト」「パトロール(Y61)」「インフィニティQX80」等が減少し、前年同期比、減収減益となる。

売上台数

商用車、小型バスでは台数を伸ばしたものの、乗用車の減少をカバーできず、前年同期比3.0%減の102千台

売上高

売上台数減により、前年同期比4.4%減の2,418億円

営業利益

売上高の減少及び販管費の上昇により、前年同期比37.4%減の28億円

親会社株主に帰属
する四半期純利益

売上高の減少及び退職特別加算金10億円を特別損失に計上したことなどにより、前年同期比56.9%減の13億円

2016年度 第2四半期 決算 <累計>

業績ハイライト

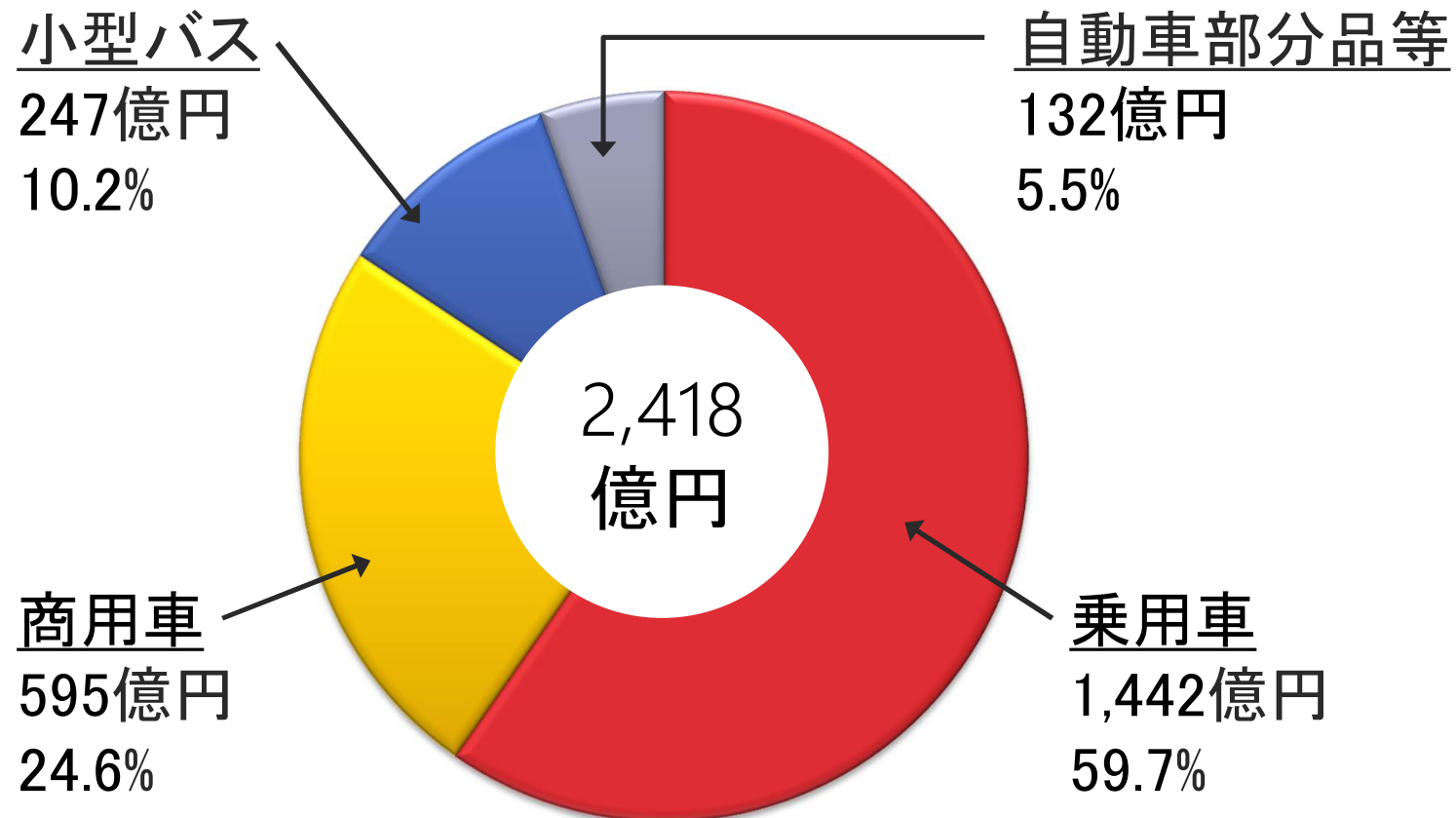


	2015年度 第2四半期 (2015/4～9)	2016年度 第2四半期 (2016/4～9)	増減額(率)		通期計画
売上高	2,530	2,418	▲ 111	▲ 4.4%	5,100
営業利益	45	28	▲ 16	▲ 37.4%	115
経常利益	47	30	▲ 16	▲ 35.2%	120
親会社株主に帰属 する四半期純利益	31	13	▲ 18	▲ 56.9%	73

単位: 億円

2016年度 第2四半期 決算 <累計>

品目別売上高構成比

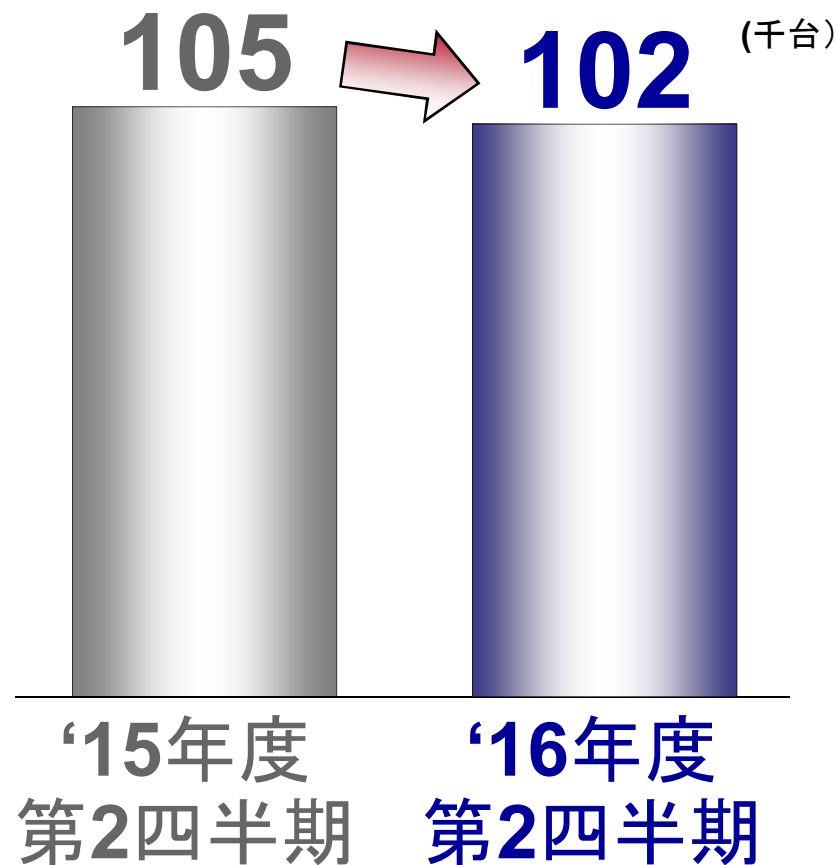


2016年度 第2四半期 決算 <累計>

売上台数



売上台数は前期比3.0%減の102千台



(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	54	48	▲11.5%
商用車	40	41	3.1%
小型バス	11	13	15.2%
合計	105	102	▲3.0%

2016年度 第2四半期 決算 <累計>

売上高

売上高は前年同期比4.4%減の2,418億円

(億円)

2,530 → 2,418

‘15年度
第2四半期

‘16年度
第2四半期

QUEST
クエスト

PATROL
パトロール:Y62



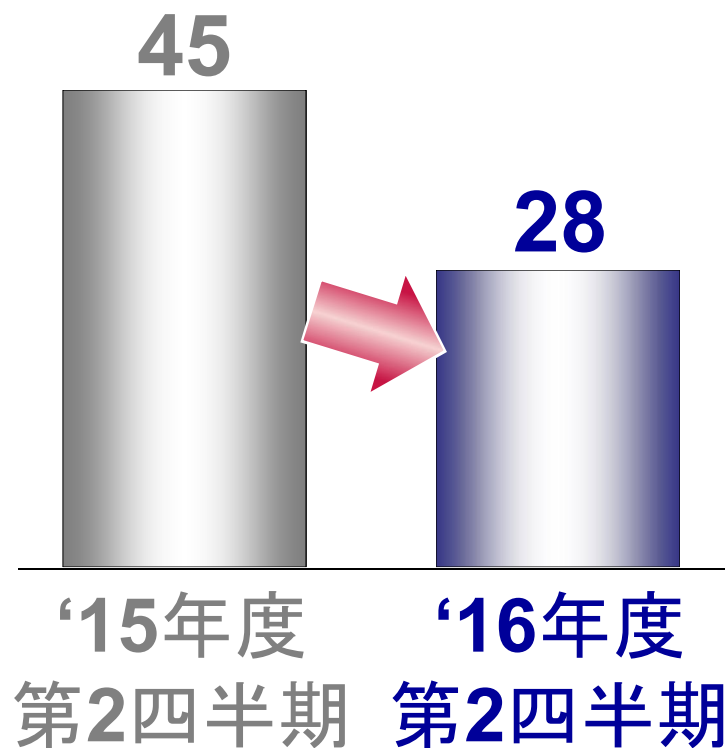
2016年度 第2四半期 決算 <累計>

営業利益／経常利益

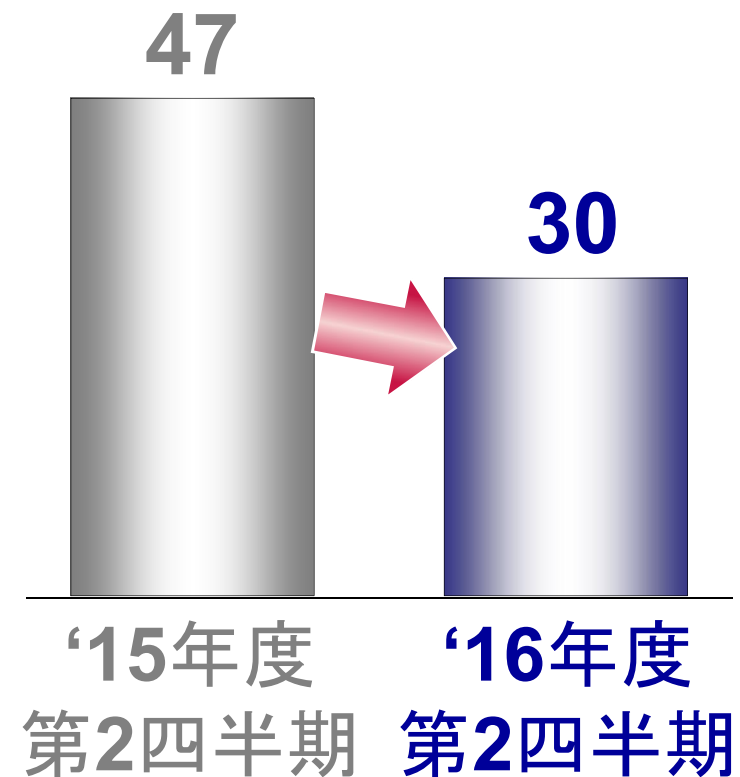


営業利益／経常利益とも前年同期を下回る

営業利益 (億円)

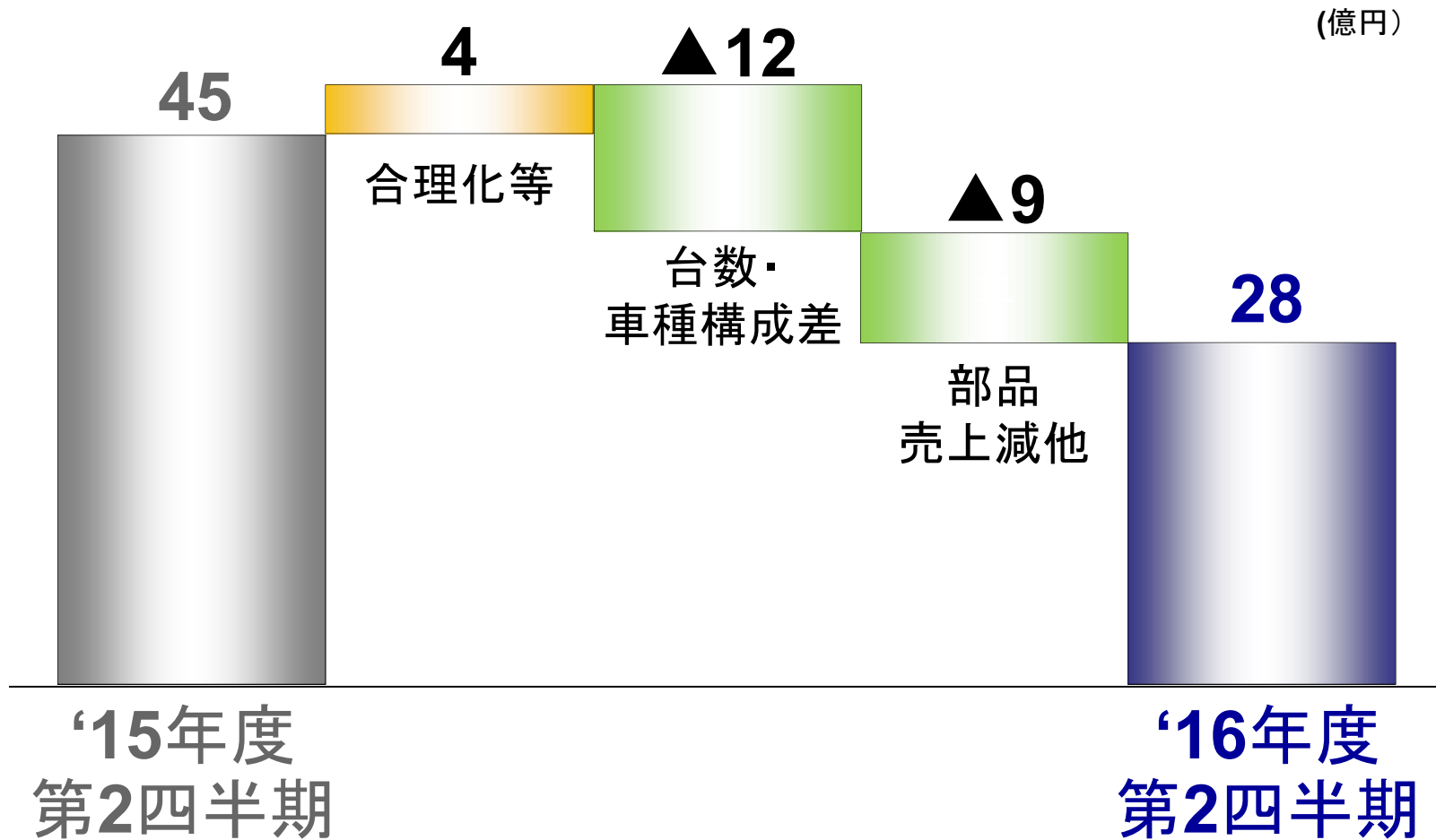


経常利益 (億円)



2016年度 第2四半期 決算 <累計>

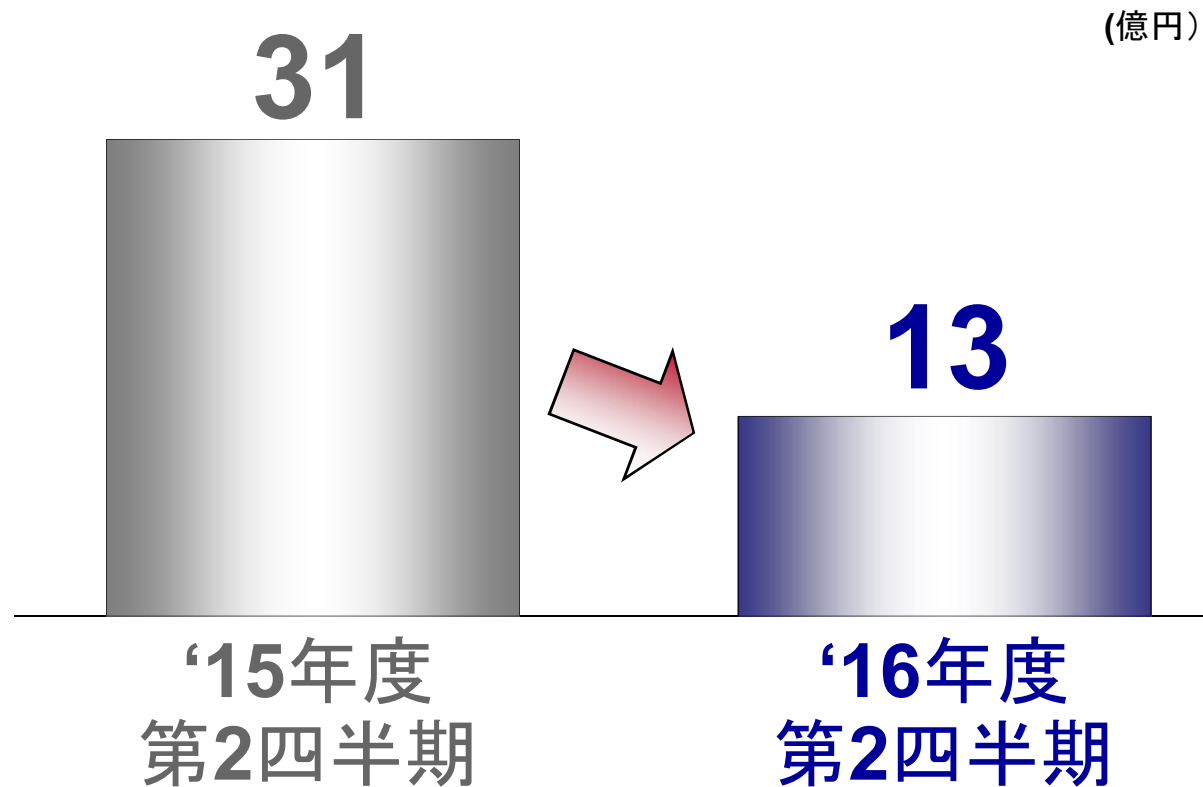
営業利益の増減要因



2016年度 第2四半期 決算 <累計>

親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比56.9 %減の13億円

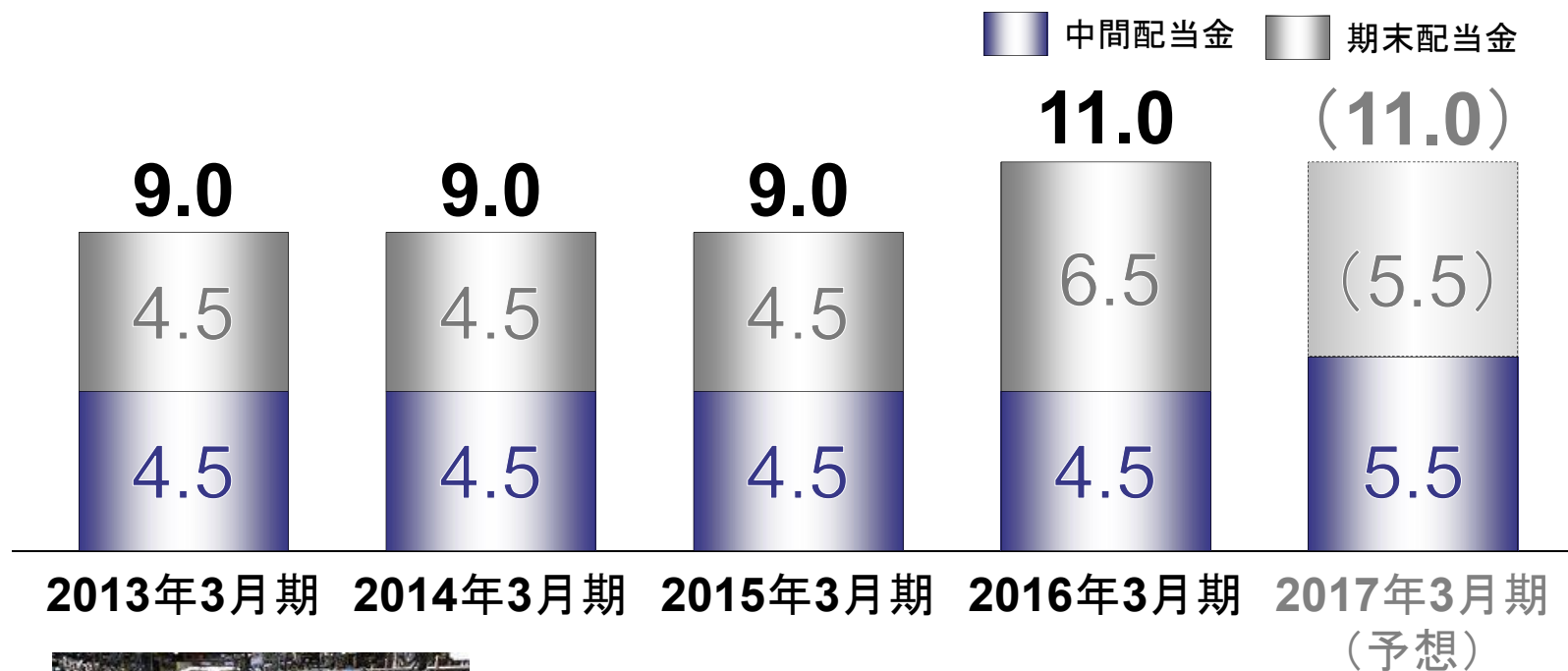


2016年度 1株当たり配当金

株主還元



安定した配当を継続的に実施



■ 株主様向け工場見学

毎年、定時株主総会終了後に工場見学を実施し、多車種混流生産ラインなど最新の設備をご案内しています。